

# まるりん通信



公益財団法人屋久島環境文化財団 Tel 0997-42-2911 FAX 0997-49-1018

## 平成30年度 第7回 屋久島研究講座

参加費無料

### 原生自然環境保全地域の 植生の継続調査

1983年(照葉樹林)および1993年(針葉樹林)から5年おきに継続してきた森林動態調査について、最新の2018年の結果を含めて紹介いたします。

**講師 相場 慎一郎**  
鹿児島大学大学院理工学研究科 准教授

今年度最後の  
研究講座です。



2月23日(土)18:30~20:00  
屋久島環境文化村センター

一般の方の予約は必要ありません。受講証明書の必要なガイドの方は必ず前日までに申込をして下さい。

申込み・お問い合わせ先:電話0997-42-2900

#### 第8回

#### 『まるりんカップ軟式野球大会』開催

国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会に参加する屋久島代表選手選考大会を開催します。

島内の中学生が熱戦を繰り広げます。応援をお願い致します。

日時: 2月23日(土)8:00(開会式)~

会場: 安房野球場

問合せ: 屋久島環境文化財団 Tel 42-2911

#### 冬~春の1日エコツアー

#### 『魅力発見!コケの観察会』

日時: 3月10日(日)

内容: コケ観察

場所: 研修センター・ヤクスギランド線

定員: 20名(先着順)

対象: 18歳以上

参加費: 500円

問合せ・申込先: 研修センター Tel 46-2900 担当: 本間 ほんま

#### 展示のご案内

#### 第6回 『屋久島の里を知ろう』展

期間: 1月2日(水)~2月17日(日)〈開催中〉

場所: 文化村センター交流ホール

内容: 多くの人に屋久島の里の魅力を知っていただきたく、各集落の文化や行事・史跡等の展示をします。今回は永田集落です。ぜひご覧ください。

#### 「屋久島和紙」研究会の展覧会

#### 「如月の柳絮展」・13

期間: 2月21日(木)~3月19日(火)

内容: ~漉いた紙に「岳」をかく~  
~屋久島の川をさかのぼる~  
(漉いた紙に絵や書をかいて展示)

主催: 「屋久島和紙」研究会・漉場工房

※上記2つの展示会は入場無料です。屋久島環境文化村センター交流ホールで開催されています。

#### 【2月・3月の休館日】

村センター 2/4(月)、2/12(火)、2/18(月)、2/25(月)、3/4(月)、3/11(月)、3/18(月)、3/25(月)  
研修センター 2/12(火)、2/25(月)、3/4(月)



## インストラクターだより

### 『人と歩む桜』

インストラクター 丸山 悟

山肌を薄いピンクに染めるヤマザクラ、屋久島の春を代表する風景です。

日本の桜は、ヤマザクラをはじめとする野生種と、園芸種まで合わせると 600 種類以上の品種があると言われています。そのなかでも、「サクラ」といえばなんといっても「ソメイヨシノ」ではないでしょうか。屋久島にはあまり植えられていないですが、「ソメイヨシノ」は、江戸時代に染井という村で「エドヒガン」と「オシマザクラ」の二種を交配させてできたもので、そこから全国に広まっていった園芸種です。

桜前線の北上とともに、それぞれの地で息を合わせたように一斉に咲き始め、満開を迎え、乱れ飛ぶ桜吹雪となり一斉に散っていく。そんな「ソメイヨシノ」には、あまり知られていないある秘密があります。それは、全国の「ソメイヨシノ」は、すべて1本の原木から次々に「接ぎ木」されたクローンであり、同じDNAの持ち主だということです。クローンであるがゆえに「ソメイヨシノ」は、自分の種によって増えることができません。もちろん、別の種類の桜の花粉で実をつけることはありますが、その種から発芽したものは、もう「ソメイヨシノ」ではなくなるのです。

江戸の世から「接ぎ木」のみで増えていったクローン桜。「ソメイヨシノ」は、人と歩むことではじめて、その存在を現在の世まで維持してきた桜なのです。



### ◆◇財団の活動報告◇◆

#### 【救急救命法講習会、資格継続研修】1/9～1/12

研修センターで、日本赤十字社による救急救命法の講習会を開催しました。

4日間で延べ32名の方が事故防止の知識や応急手当の技術を学びました。

#### 【屋久島ガイドセミナー】1/24～1/25

エコツーリズム推進協議会による認定ガイド取得のため、ガイド業務に関連する技術や資格など中身の詰まった2日間となりました。

#### 冬～春の1日エコツアー

#### 【自由研究に向けた昆虫標本づくり】1/13

プラスチックコップを使いトラップを仕掛け昆虫採集をし、身近に手に入る材料で昆虫標本作製を行いました。海外の昆虫も見られ、子供たちはとても興奮していました。



#### 【冬の野鳥と羽ペンづくり】1/27

午前中は永田集落で野鳥観察会、午後は本物の羽根を使ったオリジナルの羽根ペンづくりを行いました。当日は天候にも恵まれ、たくさん野鳥を観察することが出来ました。



#### 〈財団オリジナルグッズ、ガイドブックについて〉

文化村センター、研修センターでは、財団オリジナル絵ハガキ、ガイドブック、可愛いグッズ等を販売しています。ホームページからも購入出来ますので、是非ご利用下さい。



マスキングテープ2種



てぬぐい

### 連載 ～屋久島を想う～



屋久島町立安房中学校

校長 竹本 准

屋久島に住まわせてもらい、もう6年近くになります。最初の3年間は屋久島環境文化研修センターでインストラクターと共に環境学習を推進し、屋久島の自然を紹介する仕事をしてきました。来た当初は山、沢、海、里を歩き回り、ここには日本の自然、原風景が全部ある！という気がしていました。屋久島には多様な風景、多様な生物がコンパクトに詰まっています。1日に約100種、1年間に約4万種もの生き物が地球上から絶滅している現代に、ここでは山海里で生物多様性がなんとかうまく維持されている。それは屋久島に住む人の自然と共にある里の暮らしがあるからです。ヤクスギ伐採の歴史があるのに森はしっかり更新され、残される自然と人。ここでの生き方の方向を見事に表現しているのが町の屋久島憲章。いつ読んでも感動します。私にとって屋久島は、やっとたどり着いた理想郷のようなところ。ここで生まれ育つ子供たちの将来を考え、屋久島の未来のためになりたいという気持ちでいます。

☆竹本様は、H25～H27まで当研修センターで業務されておりましたので、今回、執筆をお願いしました。

### 〈屋久島ファンクラブ会員募集〉

屋久島の素晴らしい自然や環境文化を未来に引き継ぐ様々な活動を支援していただく、「屋久島ファンクラブ」の会員を募集しています。年会費2,000円、各種特典があります。財団事務局にお問合せ(Tel42-2900)か、ホームページをご覧ください。